

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
起業家教育Ⅱ Entrepreneur EducationⅡ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	()	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
起業家教育Ⅰ、経営学Ⅰ・Ⅱ、マーケティング				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅱ、マーケティング				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
長江 庸泰	本館2F (研究室1)	月～木曜 9:00～16:00 (授業・会議時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
本講義は、起業家教育Ⅰで開発した製品のさらなるブラッシュアップのために、起業のプロセスとしての「販売体験」、「決算活動」などの擬似的体験を基に、更なる「チャレンジ精神」と「創造性」の養成を目的に、商品企画開発の基礎的な考え方や基礎的な手法を深化させながら学修して行く。特に、企業や組織が最大利益や成果を獲得するために、従業員を合理的に活用し、従業員のやる気を高めるために必要な仕組みや制度や支援を考える「人的資源管理」を重点的に学修する。				
授業の目標				
①現代社会における起業家精神や起業家能力の必要性を説明できるようにする。 ②人的資源管理に基づく論理的な思考と批判的な思考を行えるようにする。 ③チーム活動を通じて、コミュニケーションを円滑に行い、チーム目標を達成できるようにする。 ④国際的視野に立ち、必要な情報を収集・分析して自らの考えを説明できるようにする。				
授業の方法				
本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等のアクティブラーニングを活用しながら、起業に精通した人材育成を目指すものである。				
学習の成果（学習成果）				
①現代社会における起業家精神や起業家能力の必要性を説明できる。 ②人的資源管理に基づく論理的な思考と批判的な思考を行える。 ③チーム活動を通じて、コミュニケーションを円滑に行い、チーム目標を達成できる。 ④国際的視野に立ち、必要な情報を収集・分析して自らの考えを説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)自分のキャリアデザインを考えてみる③			
第2回目	自分のキャリアデザインを考えてみる④/(グループワークによるプレゼンとディスカッション①)			
第3回目	「人的資源管理」としての就職活動③進捗報告・管理			
第4回目	「人的資源管理」としての就職活動④改善計画			
第5回目	「人的資源管理」としての企業の人事制度①人的資源管理の組織と制度			
第6回目	「人的資源管理」としての企業の人事制度②人事制度、昇進、異動			

第7回目	企業の「人事考課」と企業の評価メカニズム	
第8回目	職業キャリア、海外でのキャリアデザインと日本のキャリアデザイン、キャリアチェンジ、退職	
第9回目	定年制と雇用調整、人的資源管理の国際化、多国籍企業における人事制度	
第10回目	起業ビジネスモデル策定①仕入れ先の決定と販売価格の決定、PR活動、コンジョイント分析、品質表	
第11回目	起業ビジネスモデル策定②商品の仕入れと販売戦略の策定、ポジショニング分析	
第12回目	起業ビジネスモデル策定③開店準備と店舗の設営(オフィスレイアウト)/(グループワークによるプレゼンとディスカッション②)	
第13回目	起業ビジネスモデル策定④現金収支の計算と管理	
第14回目	企業の社会的貢献と「人的資源管理」/(グループワークによるプレゼンとディスカッション③)	
第15回目	まとめ (起業家教育 I・II を振り返りその課題や問題点をレポートに纏め、グループ内で討論する)	
事前・事後学習	事前学習(シラバスの学習ポイントを自分で調べ、質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを見直しながら、1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜き、3)自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	以下の3点から評価する：①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート	30%	Sのレポートの評価：①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月1回計3回提出予定(締切は各月末)。
調査報告書		
小テスト	20%	グループワークによるプレゼンテーション力のS評価：①内容が創意工夫した発表となっている、②グループの意見が論理的に述べられている、③グループで協働し、積極的に質疑応答に臨んでいる。
試験	20%	期末記述試験
発表内容(態度含む)	20%	Sのレポート発表評価：①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。
その他		上記評価基準に基づき成績評価：S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59
教科書と参考図書		
		八代充史著『人的資源管理論』、中央経済社(978-4-502-08850-6)及び長江庸泰作成の“デジタルテキスト[起業家教育 I 2019年度版]”を活用する。
履修上の留意点・ルール		
		●実務経験(職種：会社役員、職歴：通算39年) 本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、自主創造の精神に基づく課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けましょう。